

【事前復興計画策定支援】

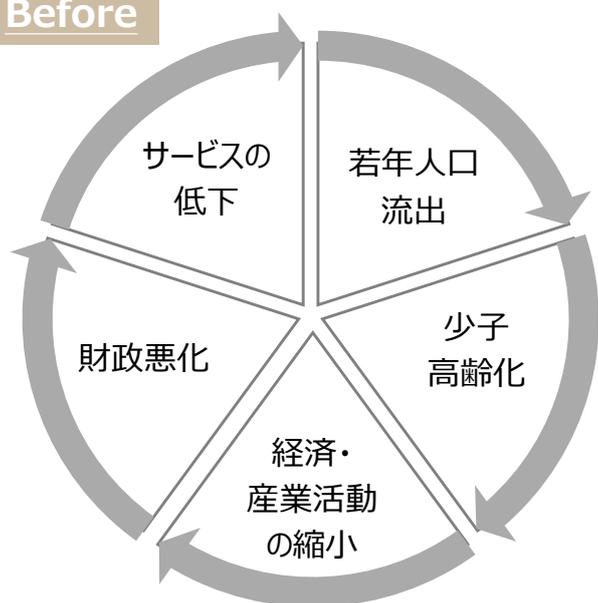
いつ起こるかわからない巨大災害に備えて

復興まちづくりの準備をサポートします ～自治体単位から地区単位まで～

防災リスクコンサルティングサービス

復興を事前に考えると、持続可能なまちづくりの実践ができます。

Before



After



今の暮らしを「失わない」ためだけではない、
不安な「未来」にもフォーカスをあててサポートします！

2～3日後に何が起こるかわかると事前に備えができるように、遠い未来の出来事についても予測ができると被害を減らすなど、迅速な復旧復興のために今から何をすべきかが見えてきます。人口減少・高齢化社会に適したまちづくり、多様な世代が生き生きと暮らせるまちづくりの関連計画策定を防災の観点から支援します。



日本ミクニヤ株式会社



サポート内容

No	項目	概要
1	災害復興事例等の収集	東日本大震災等の過去の復興事例の収集・整理、 住民合意形成手法を検討 する。
2	現状の課題及び復興課題整理	災害の時系列ごとに課題を整理 する。アンケート調査や現地調査も実施する。
3	基本方針の検討	対象地区の現状分析や課題整理を踏まえ、基本的な方針を策定する。
4	イメージ図の作成	東日本大震災等の被災地で活用された復興まちづくりのパターンを参考に将来を見据えたイメージ図を作成する。
5	復興プロセスに合わせた行動計画、復興体制の検討	発災前からの復興へのプロセスを示すとともに、行動計画の作成及び復興体制の検討 を行う。
6	庁内会議の開催及び運営支援	計画策定を促すため、庁内会議による各種検討事項の整理、会議の開催及び運営支援を行う。
7	事前復興計画策定委員会の運営支援	関係機関や学識経験者、地域の代表等が参画した委員会の開催及び運営支援を行う。
8	地域ワークショップの運営支援	モデル地区を選定し、復興まちづくりイメージ図等の検討を行うための地域ワークショップの開催及び運営支援を行う。
9	計画素案及び計画の作成	打ち合わせや庁内会議での意見をもとに素案の作成を行う。
10	職員訓練の開催支援	将来被害想定から、復興まちづくりイメージ図を作成するための職員訓練の開催及び運営支援 を行う。

※GISによるデータの可視化

現状の分析(アセスメント)

基本方針の検討

条件による移転意向の違い

住民の意向把握

復興イメージ図の作成

みんなの声

持続可能性, 4.8%
復興満足度, 19.0%
復興スピード, 76.2%

ワークショップ等を繰り返すと、復興スピードを重視する声が減り、持続可能性を重視する声が増えました。

発災時の対応等について防災担当だけでなく全庁的に実施すべきことが分かりました。(A町、副町長より)

初期には住民から避難場所・避難路の課題に関する意見が多かったんですが、話し合いが進むと地域のポテンシャルに注目する意見が増えました。

業務実績

- 復興計画事前策定業務（発注者：地方自治体、民間企業／期間：令和元年度～現在）
- 事前復興計画立案に関する情報収集・WS支援業務（発注者：大学研究機関／期間：令和3年度）
- 計画策定技術の開発（研究機関との共同研究、平成26年～現在）

